



泉大津市クリーンエネルギーフェア2016

泉大津市が、市民のエネルギーに関する啓発や、子ども達に対する環境教育を目的に毎年クリーンエネルギーフェアを開催しています。今年は、11月5日(土)に泉大津駅前のアルザ泉大津の1階アトリウムで10時～15時まで行われました。

2015年4月に大阪府内では初となる行政と市民団体が協働し実現した「泉大津汐見市民共同発電所」がきっかけとなり、昨年よりクリーンエネルギーフェアに自然エネルギー市民の会(PARE)がブースを出展しています。今年は、CASAと泉大津市で第2市民共同発電所の実現をめざしている(NPO)おづ自然エネルギー市民の会も協力し、共同でブースを出展と協賛企画として講演会を行いました。

これらの企画には、泉大津環境活動基金を活用しました。環境活動基金は、泉大津汐見市民共同発電所の売電収入の2%を泉大津市で環境活動をすすめる基金として積み立てているものです。



CASA・PARE・おづ自然エネルギー市民の会は、パネル展示と手編み風車、プラ風車の手作り工作コーナーを設けました。パネル展示では、泉大津汐見市民共同発電所は、「市民が出資して作った」、「発電は順調に推移」、「第2市民共同発電所が具体化したときには協力をお願いしたい、」などを訴えました。

工作コーナーは、大人にも子どもにも好評で約60名が風車づくりを体験しました。

会場では、全体企画として(一財)大阪府みどり公社・大阪府地球温暖化防止活動推進センターが午前と午後の2回、小学生を対象にソーラーカーの工作を行い、完成したソーラーカーを屋外に持ち出し太陽光でモーターが回ることを確認するなどの、自然エネルギーを体感する授業が行われました。

この他に関西電力(株)、泉北環境施設組合などがブースを出展していました。

講演会はクリーンエネルギーフェアの協賛企画として、PARE、CASA、大阪府地球温暖化防止活動推進センター、おづ自然エネルギー市民の会の4者が協力して、「地球温暖化を学ぶ～今世紀末、大阪は亜熱帯に?」を開催しました。大阪管区気象台地球温暖化情報官の楠田雅紀さんの「地球温暖化の『今』と『これから』」、大阪府地球温暖化防止活動推進センターの高見勝重さんの「事業所における省エネ対策のポイント」の2つの講演を行い、40名の参加がありました。



古畑 等(CASAボランティア)、中村 庄和(CASAスタッフ)